

情報公開 市民参加 市民派無所属
府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政 通信



毎日ブログ更新中

結城りょう



府中市の新型コロナワクチン接種 集団接種は府中駅前「プラッツ」5階で、個別接種は櫻井病院・府中医王病院・東府中病院などで実施予定 個別接種会場について、街のクリニックでも接種できるように要望しました・・ 「今後は医師会の協力をえて接種会場の確保に努める」(府中市議会一般質問)

個別接種会場を増やすことに「含み」をもたせた答弁も

府中市議会一般質問(2月24日)にて、府中市が実施する新型コロナのワクチン接種について、市と質疑を行いました。現在府中市は集団接種を基本に個別接種について医療機関4ヶ所を基本に計画をすすめています。私は質疑のなかで、個別接種については「『練馬区モデル』の実施を府中市においても可能な限り実施をめざしてほしい」と要望しました。

★市の答弁⇒「ワクチン接種や供給体制の進捗にあわせ、医師会のご協力を得ながら接種会場の確保に努める」との答弁で、少し「含み」を持たせる内容でした。※練馬区モデル・区内250ヶ所のクリニックなどでワクチン接種を行う

ワクチンの「巡回接種」については前向き答弁、貸し切りバスの運行は否定的答弁

また特別養護老人ホームや介護施設などを巡回する「巡回接種」の実施、またワクチン接種を希望する高齢者を会場に送り届けるために、貸し切りバスを運行させるなどの具体的手段の検討を求めました。

★市の答弁⇒「巡回接種」について「介護が必要な入所者と従事者を対象に施設内で接種できるよう、それぞれの施設管理医などの状況を確認して、巡回接種含めた接種方法も検討する」と答弁しました。ま

た貸し切りバスについては「(集団接種会場を)府中駅に隣接する集団接種会場を調整しているため、比較的交通の利便性の高い立地であることから、想定はしていない」との答弁でした。

ワクチンの接種対象に在宅系従事者も加えるよう要望しました

またワクチンの優先接種対象として、「市独自にデイサービスや訪問介護など在宅系従事者についても対象として拡大してほしい」と要望しました。

★市の答弁⇒「新型コロナワクチンの接種は、予防接種法上の『臨時接種』として位置付けられており、府中市で独自に優先順位を構築することは、ワクチンの供給体制や接種率の推移を見極めつつ、リスクの高い優先接種者に影響がでないよう、保健所をはじめ圏域市とも情報交換して判断したい」という、微妙な言い回しの答弁でした。

※その後、政府は在宅系介護従事者についても、条件付きでワクチンの優先接種対象の方針を発表しました。

この新型コロナワクチン接種については、今後も政府の方針も流動的要素が強く、自治体に対して情報を「小出し」にする傾向もあります。引き続き市に対して機敏に要望していきたいと思えます。



府中市の新型コロナワクチン接種の動向(3月15日現在の情報)

- 75歳以上32,798人、65歳～74歳27,641人(接種券、予診票、接種のお知らせを同封)
- 府中市へのワクチンについては第一弾として4月12日の週に2箱(975人×2)が到着予定
- ワクチン接種クーポン券については、4月23日前後から、はじめに90歳以上の市民に接種クーポン券を郵送(対象は4500人)、その後65歳以上の市民に券を郵送(対象は6万人)、なお16歳未満には郵送はしないとのこと。
- 完全予約制で実施・・集団接種の場合は府中市の新型コロナコールセンターへ電話で予約、または市のウェブサイトを通じて予約すること、電話はナビダイヤルを設定。個人接種の場合は実施する医療機関に予約すること(共済会櫻井病院・府中医王病院・東府中病院、あと1ヶ所)

- 集団接種会場は府中駅前「ル・シーニュ」5階の「プラッツ」で実施、1日に500人を接種目標数とする。椅子に座ってもらう形式。
- 高齢者施設や在宅介護従事者の接種希望者については、現在、市と医師会で協議中
- 4月から「府中市健康応援ガイド」全世帯に配布予定、そのなかに府中市の新型コロナのワクチン接種についての情報を掲載予定。
- 市の担当者は「政府によるワクチン供給が遅れていることもあり、今後の予定も流動的な要素が強いので、府中市のホームページを見るか、市のコールセンターにお問い合わせください」とのことです。
- ★府中市の新型コロナワクチンのコールセンター
電話0570-042567(平日の午前9時から午後5時まで 第2と第4土曜日の午前9時から正午)

街の話題

京王線府中駅前の旧伊勢丹の建物が、新たなランドマーク「Mitten」(ミッテン)に生まれ変わり、今年の初夏にオープンします

★「Mitten」とはドイツ語で「中心」という意味とのこと

旧伊勢丹の建物が家電量販店の「ノジマ」と多くの専門店が入居することはすでに知られていますが、「ノジマ」のホームページによると、その詳細が公開されています。府中の新たなランドマークタワーとして生まれ変わるというコンセプトのもと、名称は「Mitten」(ミッテン ドイツ語)。同社のホームページによると、「ドイツ語で真ん中、中心地を意味」して、「府中はかつて律令時代に武蔵国の中心地として国府が置かれた歴史のある都市です。その府中において当施設が、人と街が交錯する賑わいの中心地、多世代が交わるターミナル、府中の中と外を結ぶプラットホームとなることを目指しネーミングを致しました」

と記載しています。また建物の各階の内容については以下のようにお知らせしています。なお具体的な店舗名については後日公開するとのこと。

- 9階・・レストラン、フードコート、●8階・・大型100円ショップ、回転寿司、サービス、●7階・・キッズ用品、アミューズメント・写真スタジオ、●6階・・駅前型ホームセンター、●5階・・デジタル家電専門店「ノジマ」、●4階・・大型ライフウェア、インテリア雑貨、手芸、スーツ、●3階・・大型ライフウェア、カフェ、●2階・・化粧品、バッグ、雑貨、アパレル、フラワーショップ、●1階・・スイーツアイランド、雑貨、アパレル、サービス、●地下1階・・総合スーパー、生鮮三品、グロッサリー食物販

なぜ介護老人保健施設「ふれあいの里」では新型コロナのクラスターが発生し、特別養護老人ホーム「あさひ苑」では感染拡大を防止できたのか (府中市の新型コロナ感染問題・市議会一般質問)

全国でも相次ぐ高齢者施設の新型コロナウイルスのクラスター

市政通信3月号で介護老人保健施設「ふれあいの里」の新型コロナ感染拡大(クラスター)について掲載しましたが、私はこの問題について、市議会の一般質問で取り上げました。

「ふれあいの里」クラスターの原因を市は分析できない?

はじめに、介護老人保健施設「ふれあいの里」(押立町1丁目)の新型コロナのクラスター発生について市に分析を求めました。

★市の答弁⇒「同施設のクラスター発生については多摩保健所が対応しているの、正確な分析は難しい状況」とし、「運営上、入所者と職員、入所者同士の一定の接触は避けられない状況にある」との答弁でした。

あさひ苑の迅速機敏な初動対応

一方で同じ時期(1月初旬)に新型コロナの感染拡大を防いだ特別養護老人ホーム「あさひ苑」(朝日町3丁目)について分析を求めました。

★市の答弁⇒「(発生直後から)通所サービスを休止し、食事を宅配するなど個別対応に切り替えるとともに、当該感染者との接触者を特定したうえで、万全を期して、併設する特養ホームの職員を含めた全職員のPCR検査の実施など、迅速な対応を取ったことが、感染確認からの初動対応として参考になる」との答弁でした。

私は質疑のなかで「あさひ苑の場合は、感染者が発生した際の初動対応が極めて迅速、的確に行われたが、ふれあいの里では逆の対応だった」ことを指摘しました。

初動対応の遅れがあきらかな「ふれあいの里」

一方で市の答弁にあるとおり、「ふれあいの里」では明らかに初動対応の誤り、迅速性に欠けるといえる点が多々あったことは否めないこと。それが82名の感染者にまで広がったということで証明されています。私は市に対して「2つの施設でここまでの違いがでたことに対して、これを市として、今後、市内にある福祉施設の管理責任者、職員の方々に、本当に周知徹底をしてすべきだ」と質しました。

「ふれあいの里」の初動対応はなぜ遅れたのか・・・ 認知症の方への対応が困難

私は質疑のなかで『ふれあいの里』に入所していた認知症の方について、コロナ感染拡大という視点から現状の対策と課題について質しました。

★市の答弁⇒「(認知症の方につきましては)マスクの着用や他の入所者との接触を避けるなど、感染拡大の防止策を徹底するうえで困難な状況にあるため、その対応に苦慮している」との現状認識を示しました。また答弁では今後の課題として「(ふれあいの里の)施設の構造上、食事をはじめとした日常生活において、入所者同士の接触を完全に避けることが難しい」との内容でした。

早期の対策として、施設内の動線やゾーニングを確保することが課題になる

★後の対策に関する市の答弁⇒「業務上、介護に従事する職員の入所者との接触が避けられない状況にあるため、今後は感染が確認された早期の対策として、施設内の動線やゾーニングを確保することが課題になる」との認識を示しました。

この答弁にあるように、感染が確認された場合の「早期の対策として、施設内の動線やゾーニングを確保することが課題になる」というのがポイントです。ここが「ふれあいの里」では対策として確立していなかったわけです。

認知症の方に対する感染防止策への対応については、はなかなか難しい、デリケートなものもあると思います。だからこそ、感染者が発生した際の対応について、今回のクラスターから導きだされた教訓について、再び府中市内の高齢者施設などで大型クラスターの発生を防ぐことを、今後も求めていきます。

保健所に感染者の入院を求めても、受け入れてもらえないケースが各地で続発

★ゆうき質問⇒「新聞報道によると、各地のクラスターが発生した施設では保健所に感染者の入院を求めても、受け入れてもらえないケースが多くあることを伝えていきます。読売新聞2月5日付報道では『入院できず施設に残る人たちも基礎疾患のある人が多く、急変したら命の危険がある』と報じています。そこで今回のクラスターで陽性反応がでた入所者のなかで、保健所に入院を求めても入院できなかった方に対する対応策はどうだったのかについて伺いたい」。

★市の答弁⇒「(新型コロナ感染拡大の)第3波のなかで発生した、今回のクラスター対応におきましては、医療の逼迫から入院が制限されたため、多摩府中保健所の指示のもと、陽性反応が出た入所者のうち、無症状の方や症状が軽い方について、施設内での経過観察となったものと伺っております。またそうした入所者への対応につきましては、施設内において、職員が担ったものと報告を受けております」。

入院の行き場を失った認知症の入所者の方に、自治体の対応求める声が

この質疑を受けて私は、今回の「ふれあいの里」クラスターとほぼ、同様なケースが、毎日新聞2月7日付記事で報道されていることを指摘、「昨年7月、熊本県の介護老人保健施設で、入所者と職員の計49人が感染。3人が亡くなり、患者の大半は認知症だった」「保健所では当初、認知症に対応できる地元の病院に患者を入院させようとしたが、全員の受け入れは難しく、30人が行き場を失った」と報じています。私は「各地から、日々の介護にあたる家族や支援者からは、認知症の人が感染した場合の対応方針や支援策を打ち出すよう声があがっている。この際、府中市にも求めたい」と発言しました。



▲ふれあいの里



▲あさひ苑

結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウイルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただいておりますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです(電話にでれない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます)。電話 090-4136-7642

住所 〒183-0004 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

また私、結城りょう はホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。「ホームページ検索→結城りょう」



府中市議会議員 結城りょう プロフィール

昭和45年(1970年)5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建組合府中国立支部事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員(現在、2期目)。所属する委員会は現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競争入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。